

かちゅうらいぶらい

令和7年9月発行
加賀田中学校図書館

まだまだ残暑厳しいですが、少しずつ日が暮れるのが早くなりましたね。
季節は秋へ移ろうとしています。
図書室には、新しい本がたくさん届きました。
秋の夜長に読書をどうぞ。



夏休み貸出をした本は、
忘れずに返却してください。



9月 としょかんカレンダー						2025年 かちゅう
月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	30				



新着本の紹介

『僕には鳥の言葉がわかる』 鈴木俊貴・著 小学館
古代ギリシャ時代から現代まで、言葉を持つのは人間だけだと決めつけられてきた。しかし、シジュウカラたちは、それが間違いであることを教えてくれた。動物たちの言葉を解き明かす新しい学問「動物言語学」を創設した東京大学准教授・鈴木俊貴さんの本。
『動物たちは何をしゃべっているのか?』 山極寿一・鈴木俊貴・著 集英社 も一緒に読むと、面白いよ!



『すごすぎる天気の本 防災の超図鑑』 荒木健太郎・著 KADOKAWA
すごすぎる天気の本シリーズから『防災』がでました。自然災害のしくみや備え、対策について知ろう。いざというときの「知っていてよかった」のきっかけになる本。



『ミライの武器』 吉藤オリィ・著 サンクチュアリ出版
「こうしたい」という夢よりも、実現させてくれる道具の方が多い。そんなワクワクする時代をどう生きるか? 発明家でありロボット開発者である著者が夢中になれるものを見つけるヒントをくれる。小学校5年生から4年間不登校という一風変わった経験を持つオリィさんが考えるミライの武器とは…?



『謎の香りはパン屋から』 土屋うさぎ・著 宝島社
漫画家を目指す大学生の市倉小春は、パン屋でアルバイトをしていた。ある時、同じパン屋で働く親友の由貴子にライブをドタキャンされてしまう。誘ってきたのは、彼女のほうなのに? 疑問に思った小春は、彼女の行動を振り返り、意外な真相に辿りつく…。パン屋を舞台にした<日常の謎>連作ミステリー。2025年第23回『このミステリーがすごい!』大賞 大賞受賞作。



『二人一組になってください』 木爾チレン
『ありか』 瀬尾まいこ
『この素晴らしい世界に祝福を! ①~⑧』 暁なつめ
『小説ブルーロック⑨⑩』 吉岡みつる など届いています。